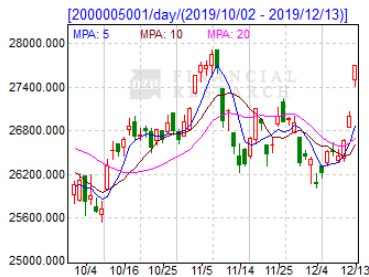


中国株ウィークリーレポート

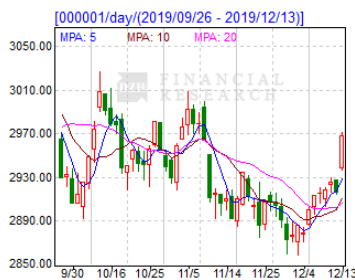
2019/12/16

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	28,135.38	3.33	0.01	0.43	20.61	23,327.46
NASDAQ	8,734.88	17.56	0.20	0.91	31.64	6,635.28
日経225	24,023.10	598.29	2.55	2.86	20.03	20,014.77
上海総合	2,967.68	51.98	1.78	1.91	19.00	2,493.90
滬深300(CSI300)	3,968.22	77.20	1.98	1.69	31.81	3,010.65
ハンセン	27,687.76	693.62	2.57	4.49	7.13	25,845.70
中国企業	10,838.11	223.35	2.10	4.14	7.05	10,124.75

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は4.5%高と大幅続伸、上海総合指数は1.9%高

香港市場ではハンセン指数が週間で4.5%高と大幅続伸。米FOMCや英総選挙といった重要イベントを控えて週初はやや軟調に推移したが、週央以降は米中の部分合意に対する楽観的な見方が次第に優勢となったことでリスクオンの流れが加速。ハンセン指数は週末13日まで3日続伸し、1カ月ぶりに節目の27000ポイント台に乗せた。本土市場では上海総合指数が週間で1.9%高と続伸。中央経済工作会議の開催を受けて景気対策期待が高まったことに加え、米中部分合意報道で13日にはおよそ1カ月ぶり高値をつけた。

今週の展望:香港市場は堅調な展開か、米中部分合意を受けてリスクオン

香港市場は堅調な展開が予想される。最大の懸案だった米中通商問題で両国が「第1段階の合意」に達し、中国景気の先行きに対する警戒感が後退。合意文書への署名は来年1月になる見込みだが、今週はひとまずリスクオンの流れが加速しそうだ。20日に予定されているマカオの中国返還20周年記念式典でのサプライズへの期待も相場の押し上げ要因となる可能性がある。本土市場も米中部分合意を受けて堅調な展開か。景気刺激策への期待は後退する可能性があるが、先行き不安の後退でリスクオン姿勢が強まりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 銀河娛樂(00027)	57.95	10.91
2 テンセント(00700)	361.00	7.57
3 中国人寿保險(02628)	21.60	7.46
4 中国海外発展(00688)	29.20	7.35
5 ヘトロチャイナ(00857)	3.83	6.98
6 瑞声科技(02018)	66.15	6.78
7 華潤置地(01109)	37.65	6.66
8 長江和記実業(00001)	74.25	6.53
9 碧桂园(02007)	11.84	6.28
10 AIAグループ(01299)	82.65	6.03

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬(01177)	10.34	-2.64
2 万洲国際(00288)	8.15	-1.57
3 石業集団(01093)	17.78	-0.89
4 Link REIT(00823)	80.50	0.00
5 吉利汽車(00175)	15.40	0.26
6 申洲国際集団(02313)	108.40	0.37
7 中国旺旺(00151)	7.09	0.57
8 電能実業(00006)	56.15	1.08
9 信和置業(00083)	11.54	1.23
10 恒隆地産(00101)	16.68	1.34

▼今週の主なイベント

- 12月17日(火)
- 【香港】失業率(9-11月)
- 12月20日(金)
- 【中国】最優遇貸出金利(12月)
- 【マカオ】マカオの中国返還20周年

▼今週の期待材料

- ◆米中の「第1段階の合意」で対中制裁関税第4弾の発動回避、米中対立激化への警戒感が後退
- ◆20日のマカオ中国返還20周年記念式典に習近平国家主席が出席、サプライズに期待が高まる可能性も
- ◆10-12日に中国で中央経済工作会議を開催、20年に小康社会の実現とGDP倍増計画の達成が最優先課題

▼今週の懸念材料

- ◆20日に中国人民銀行が12月の最優遇貸出金利を発表、金利据え置きで金融緩和期待が後退する可能性も
- ◆米中通商協議で第1-3弾の制裁関税は撤回見送り、引き続き2500億米ドル分に25%の関税を適用
- ◆香港の11月の空港利用者数が前年同月比16%減の約500万人、過去10年で最大の下落率に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 華潤置地(01109): 11月の不動産販売額が49%増加、販売面積は20%増
- ☆ 中国鉄建(01186): 臨空産業パークの建設プロジェクトを共同受注
- ☆ 中国信達資産管理(01359): 幸福人寿保険株51%を売却、売却益44.2億元
- ☆ 中国冶金科工(01618): 1-11月の受注額が18%増加、海外受注は17%増
- ☆ 小米集団(01810): ウェアラブル端末の世界出荷台数、3四半期連続でシェア1位
- ☆ 中国中煤能源(01898): 11月の石炭販売量が40%増加、1-11月は37%増
- ☆ サンズ・チャイナ(01928): 20日にマカオの中国返還20周年、マカオ支援策に期待
- ☆ 中国平安保険(02318): 傘下のワンコネク트가13日にNY上場、2.9億米ドル調達
- ☆ 衆安在線財産保険(06060): 1-11月の保険料収入が26%増加、11月は45%増
- ★ アリババ集団(09988): 鴻海精密工業傘下の投資会社が保有株を売却

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。